

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成	26	年度
--------	----	----	----

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ事業			
担当課係名	スポーツ振興 課	スポーツ振興 係	作成者	秩父慎吾
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ
	基本計画	スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備		
	主要施策	スポーツ活動の振興、充実		97
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	6 項 保健体育費	1 目 保険体育総務費
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 26 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 直営 (一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託 (全部) <input checked="" type="checkbox"/> 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民のスポーツ振興を図るために総合型地域スポーツクラブの設立及び運営体制を強化する。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	総合型地域スポーツクラブを地域におけるスポーツ活動の拠点及び地域住民の交流の場として活用する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	総合型地域スポーツクラブの創設及び自立に向けた取り組みを行うとともに、各クラブにおいて複数のスポーツ活動 (各種スポーツ教の開催等) を行う。

【事務事業の推移】

項 目		単 位	25年度実績		26年度実績		
			25年度実績	26年度実績	25年度実績	26年度実績	
効果	活動指標	スポーツ教室の開催	目標	352	580		
			実績	463	1,234		
			達成度	131.5%	212.8%		
	成果指標	スポーツ教室延べ参加者	目標	4,040	7,600		
			実績	5,019	18,790		
			達成度	124.2%	247.2%		
投下コスト	項 目		総事業費	25年度決算額(千円)	26年度決算額(千円)		
	事業費 (人件費を除く) (A)			2,726	3,397		
	人 件 費 (B)		—	663	655		
	職 員 数		—	0.08	0.08		
	職員平均人件費		—	8,286	8,192		
	(A) + (B) 投下コスト		—	3,389	4,052		
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他			2,201	2,357	
		一般財源			1,188	1,695	
単 位 コ ス ト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	7,320	3,284		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	115	138		

【事務事業の今までの成果】

桜木内てくてく倶楽部では自立に向けた活動が行われたほか、神代地区において神代スポーツクラブが新たに設立された。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	県内に総合型地域スポーツクラブが72団体設立され、18団体でスポーツ振興くじ助成を受け活動している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	・市民がスポーツを楽しむ環境を整えることは大事である。 ・地域全体で進めていくことが大事である。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	スポーツ振興くじ助成金を活用した事業であり、総合型地域スポーツクラブの運営体制を強化するためには有効な事業である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

今後は各総合型地域スポーツクラブで財政面での自立に向けた取り組みが必要となることから、魅力のある事業展開を行っていく。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	市の補助金も限界があり、スポーツ振興くじ助成金を活用できる総合型地域スポーツクラブは、次世代スポーツ選手の育成にも有効な財源である。

